

博多港 平成27年の人流・物流

外国航路船舶乗降人員数：**過去最高**

[23年連続日本一！（見込み）]

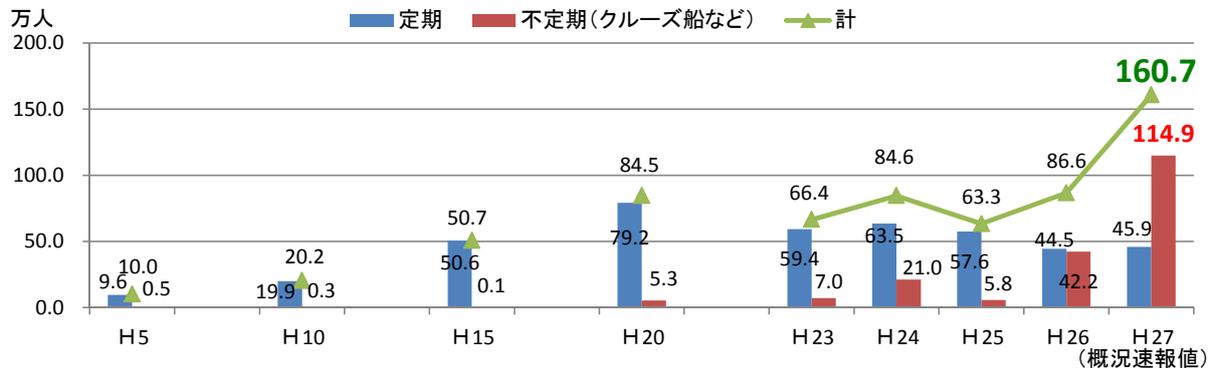
国際海上コンテナ個数：過去2番目の取扱個数

1. 外国航路船舶乗降人員数

平成27年における外国航路船舶乗降人員数（概況速報値*1）は約**160万7千人**となり、平成26年の約86万7千人を約74万1千人（85.5%）と大きく上回るとともに、過去最高であった平成22年の約87万3千人をも大幅に上回り、**過去最高を記録**いたしました。

特に、外航クルーズ船の寄港数の増加や船舶の大型化に伴い、クルーズ船がほとんどを占める**不定期航路*2**の乗降人員数は約**114万9千人**（対前年比：72万7千人増、172.4%増）となり、過去最高であった平成26年の約42万2千人から3倍近い増加を示しています。

■外国航路船舶乗降人員数の推移



【参考】博多港におけるクルーズ船寄港回数の推移

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
外航	※ 63	32	※ 91	22	※ 99	※ 245
内航	21	23	21	16	16	14
計	84	55	112	38	115	※ 259

平成27年は、内航を含め博多港がクルーズ船寄港回数**日本一！**
（外航は2年連続日本一）
左表の※は、日本一の年



「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」(167,800トン)日本初入港
期日：平成27年6月27日



「訪日クルーズ旅客数100万人」達成記念式典
期日：平成27年12月8日 於：中央ふ頭クルーズセンター

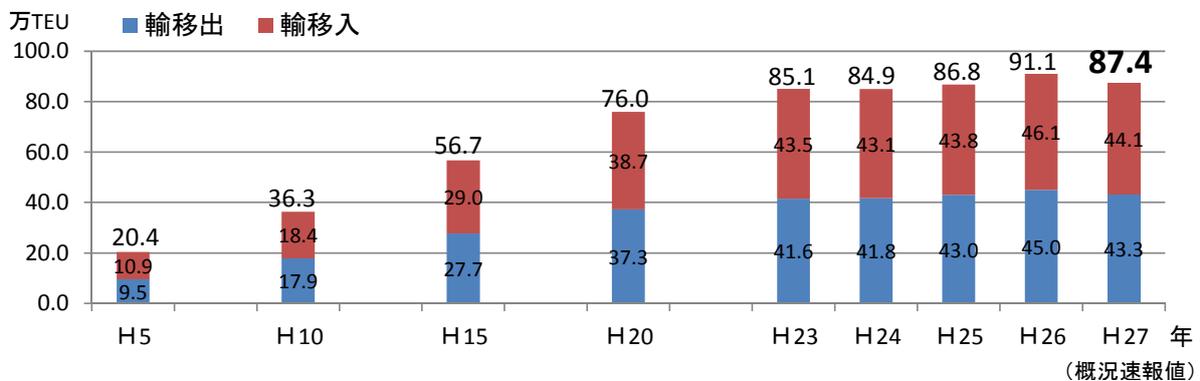
2. 国際海上コンテナ貨物取扱個数

平成 27 年における博多港の国際海上コンテナ貨物取扱個数（概況速報値*1）は、約 87 万 4 千 TEU（過去 2 番目の取扱個数）となる見込みです。

地域別では、東南アジア、北米、ヨーロッパとの貨物は増加しておりますが、全体の約 6 割を占める東アジア（中国・韓国・台湾・香港）との貨物が減少しており、特に、中国からの輸入が多かった電気機械（ソーラーパネルなど）は、平成 26 年と比較して 3 割近く減少いたしました。

なお、博多港は、日本海側で唯一北米との基幹航路を有する港であるとともに、中国・韓国・東南アジアとの航路も充実しており、平成 28 年 2 月 1 日現在、40 航路・月間 206 便の国際コンテナ定期航路が就航し、世界 12 ヶ国・地域 37 港とダイレクトに結ばれています。

■国際海上コンテナ貨物取扱個数の推移



- *1 概況速報値とは、事業者からの聞き取りによるもので、今後変動する可能性があります。港湾統計速報値は 2 月下旬頃、確定値は 9 月頃に公表予定であり、上記の地域別・品目別の傾向は、平成 27 年 1～11 月までの港湾統計速報値によるものです。
- *2 不定期航路には、ごく一部、日韓航路の臨時便が含まれています。

【お問合せ先】

●クルーズに関すること
港湾振興部 クルーズ課
担当：石井
電話：092-282-7238
FAX：092-282-7772

●港湾物流に関すること
港湾振興部 物流推進課
担当：進藤
電話：092-282-7109
FAX：092-282-7772

●港湾統計に関すること
総務部 総務企画課
担当：平田、田中
電話：092-282-7103
FAX：092-282-7771